

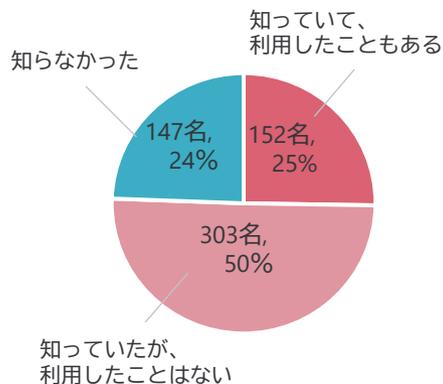
## Gold OA\*について

\*Gold OA：著者支払い型のOAの出版モデル。  
APC\*を支払うことによって論文がOAで出版される。

\*APC：Article Processing Charge  
論文をオープンアクセスで出版する際に支払う費用。

教員の約半数が「Gold OAでの出版経験あり」 [p.32]

### 図書館によるAPC支援\*の認知度 [p.37]

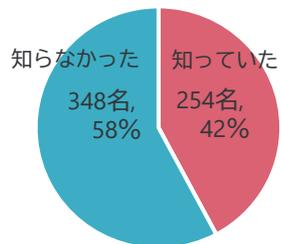


\*図書館によるAPC支援：図書館では、Elsevier、RSC、Wileyの3社と、電子ジャーナルの購読と論文のOA出版を包括的に取り扱う契約（転換契約）を締結している。これにより、著者はAPC定価の3割の経費負担で自らの論文をオープンアクセスにすることができる。

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/services/open/gold/apc>

- 教員の75%は図書館によるAPC支援を認知している
- 制度を利用していない理由として、投稿するジャーナルが支援の対象外である、OA出版負担金額が高額である、などがある [p.38]

### 国際学術論文掲載料支援\*の認知度 [p.43]



\*国際学術論文掲載料支援：研究・産学官連携推進部が実施。若手研究者を対象に、Top10%ジャーナル論文に係る論文掲載料等の支援を実施している。

<https://airimaq.kyushu-u.ac.jp/university-relationships-only/publication-fee-support/>（学内者限定）

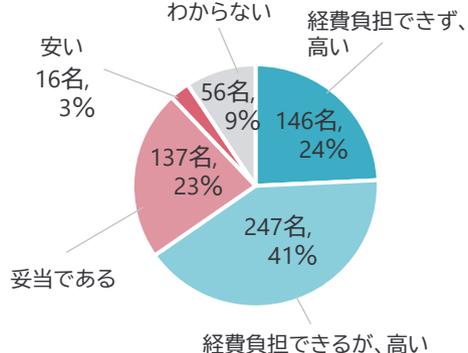
- 認知度は半分程度
- 年齢など、条件に合致せず利用できないという回答が多い [p.44]

### 【今後に向けて】

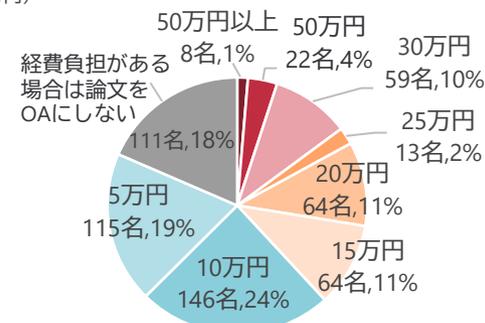
- 大学が実施しているAPC支援制度についてのさらなる情報発信が必要
- 経費負担に関する現状・ニーズを踏まえ、APC支援スキームの再検討を実施

### OA出版負担金額\*への印象 [p.39]

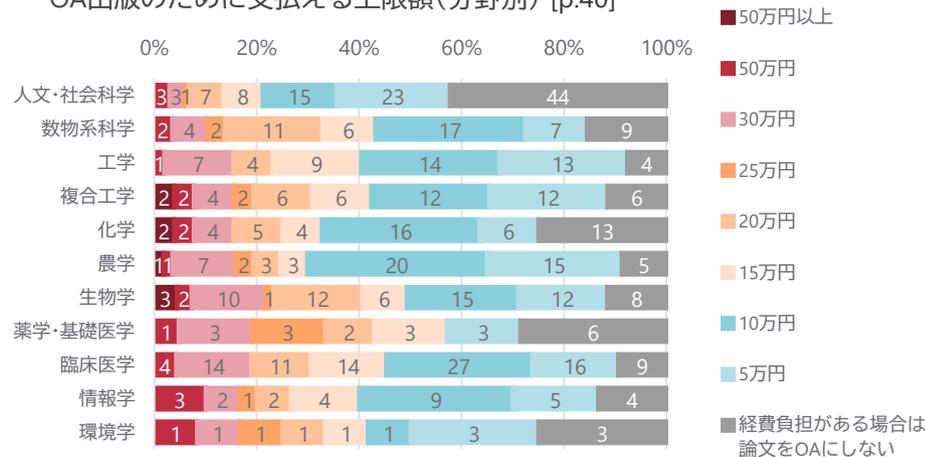
\*図書館のAPC支援による著者の3割負担（平均約15万円）



### OA出版のために支払える上限額 [p.40]



### OA出版のために支払える上限額(分野別) [p.40]



- OA出版負担金額については、3割負担でも65%が高いと感じている
- 15万円を支払えると回答したのは約40%。60%は10万円以下、あるいは経費負担がある場合はOA出版しないと回答